

伊勢旅行の思い出に、伊勢檜で オリジナルのお箸を作ませんか？



伊勢檜

伊勢神宮で大切に管理され続け、数百年と育つ大きな杉。伐採することは許されておらず、稀に自然と倒木した杉は神宮杉と呼ばれ貴重な銘木として市場に現れます。今回ご用意したセットの箸置きには、こちらの神宮杉を使用しております。


三重県松阪市飯高町は、奈良時代より伊勢国への玄関口だったことから吉野の林業技術が伝わり、「波瀬林業」として発展してきました。

元禄 16 年 (1703 年) には植林も行ってた記録も残っており、山を育てる「造林」の技術も 300 年以上続いています。

伊勢の国の一帯は伊勢神宮が 20 年に一度社殿を建て替える「式年遷宮」を行う際に大量の良質な木材が必要になることから、林業（造林）の発展は必然だったとも言えます。



神宮杉

もくいち千の杜は「もくいちマルゴ」様ご協力のもと、伊勢の

マルゴ 木を使用した箸づくり体験を行っております。
体験キットは千の杜フロントにて、1,500 円（消費税別）にて
ご提供致しております。お気軽にお声がけくださいませ。
また、お持ち帰り用キットは売店にて販売中です。